

1. 科目名 (単位数)	日本語教育の理論と方法 (2単位)	3. 科目番号	EIIIE2151
2. 授業担当教員	青木 優子		
4. 授業形態	講義・演習・討論・発表	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	日本語教育の基礎的な理論とその展開の方法について学習する。日常使用する日本語を客観的に捉える力を養うことによって、自身の日本語力の向上をはかる。また「言語としての日本語」を知り、「外国人に日本語を教えること」とは何であるのかを知る。具体的には、日本語教育の歴史と現状、日本語の特徴とその社会文化背景要因、日本語の音韻体系や文法、日本語を学ぶ学習者事情といった側面から説く。		
8. 学習目標	1. 日本語教育学の基礎知識について説明できるようになる。 2. 日本語教育学の基礎知識を、自分で用例を挙げながら解釈したり、母語の知識と比較したりできるようになる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	1. 本授業で使用する【教科書】は、必ず各自が購入すること。 2. 授業では希望箇所の小発表を行なうため、発表の準備をすること。 3. シラバスで取り上げた項目の中から興味のあるテーマを一つ取り上げ、最終レポートにまとめること。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】高見沢孟 監修『新・はじめての日本語教育1 日本語教育の基礎知識』アスク出版。 【参考書】高見沢孟他著『新・はじめての日本語教育2 日本語教授法入門』アスク出版。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1) 日本語教育学の基礎知識について説明できるようになったか。 2) 日本語教育学の基礎知識を日本語 (と母国語) に当てはめ、自分で用例を挙げながら解釈できるようになったか。 ○評定の方法 以下の点を総合して評価する 1 授業への参加態度 総合点の30% 2 提出課題 (レポート等)・発表 総合点の40% 3 試験 総合点の30% なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位の修得は基本的に認められない。		
12. 受講生へのメッセージ	日本語母語話者であれば、普段当たり前のように日本語を使っているため、日本語を教えることは簡単だと思われるかもしれませんが、しかし、母語話者であるというだけでは、その言語を外国人学習者に教えることはできません。この授業では、日本語を外国語として学ぶ学習者に教える際に必要となる知識を学び、日本語がどのような言語であるかについて考えます。日本語教育学は、社会貢献性を兼ね備え、幅広い知識と教養を必要とする奥が深い学問です。多様化する学習者ニーズに応えられる力を一緒に身につけましょう。		
13. オフィスアワー	授業の中で通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション (授業概要の説明、外国人に日本語を教えることについて考える) 発表担当箇所を決める	事前学習	シラバスをよく読んでおく。教科書の目次を見て、発表希望箇所を考えておく。
		事後学習	配布資料をよく読み、授業の復習をする。
第2回	第1章 言語としての日本語 1. 日本語はどこから来たか 2. 語順から見た日本語 3. 日本語はどんな類型に属するか 4. 日本語にはどんな特徴があるか	事前学習	教科書 pp. 8~22 を熟読しておく。
		事後学習	教科書 pp. 8~22 内の課題問題をやる。
第3回	日本語教育の歴史と現状	事前学習	教科書 pp. 275~277 を熟読しておく。
		事後学習	配布した課題をやる。
第4回	第2章 日本語の音声① 1. 日本語の「音」 2. 日本語の音節 3. 日本語のリズム 4. 日本語の母音 5. 日本語の子音 6. 日本語の半母音 7. 日本語の「音素」 8. 母音の無声化 (devoicing) 9. 日本語のアクセント 10. 日本語のイントネーション (音調)	事前学習	教科書 pp. 24~58 を熟読しておく。
		事後学習	教科書 pp. 24~58 内の課題問題をやる。
第5回	第3章 日本語の文法① 1. 日本語文法と国文法 2. 文型教育: 表現文型のリストと提出順序 3. 品詞分類 4. 動詞の活用 5. 日本語の文法的特徴	事前学習	教科書 pp. 60~77 を熟読しておく。
		事後学習	教科書 pp. 60~77 内の課題問題をやる。

第6回	第3章 日本語の文法② 6. 名詞文「～は～です」 7. 主語と主題 8. 「こそあど」詞：指示詞 9. 形容詞 10. 「～たい」と「ほしい」：希望・欲求の表現	事前学習	教科書 pp. 78～92 を熟読しておく。
		事後学習	教科書 pp. 78～92 内の課題問題をやる。
第7回	第3章 日本語の文法③ 11. 動詞と表現意図 12. 「いる」と「ある」：存在文と所在文 13. 自動詞と他動詞 14. 「～ている」 15. 可能表現 16. 使役表現 17. 受身表現	事前学習	教科書 pp. 93～106 を熟読しておく。
		事後学習	教科書 pp. 93～106 の課題問題をやる。
第8回	第3章 日本語の文法④ 18. 授受表現 19. 助詞 20. 「は」と「が」の用法 21. 「を」の用法 22. 「に」と「で」の用法	事前学習	教科書 pp. 107～130 を熟読しておく。
		事後学習	教科書 pp. 107～130 内の課題問題をやる。
第9回	第4章 日本語の文字・表記 1. 常用漢字表について 2. 漢字の筆順 3. 送り仮名のつけ方 4. 現代仮名遣い 5. 外来語の表記 6. ローマ字の表記 7. くぎり符号・くり返し符号・横書きの書き方など [参考] 日本語の文字の歴史	事前学習	教科書 pp. 132～174 を熟読しておく。
		事後学習	教科書 pp. 132～174 内の課題問題をやる。
第10回	第5章 語彙 1. 語彙と語の違い 2. 語種 3. 語構成 4. 語彙の体系 5. 語を数える 6. 位相	事前学習	教科書 pp. 176～190 を熟読しておく。
		事後学習	教科書 pp. 176～190 内の課題問題をやる。
第11回	第6章 社会言語学 1. 社会言語学とは 2. 敬語 3. 方言と共通語 4. 文法以外のコミュニケーション行動 5. コミュニケーション・ストラテジー 6. 言語接触	事前学習	教科書 pp. 192～220 を熟読しておく。
		事後学習	教科書 pp. 192～220 内の課題問題をやる。
第12回	第7章 心理学 1. 心理学と日本語教育 2. 現代の心理学とは？ 3. 「学習 (learning)」とは？ 4. 学習の形態 5. 発達と成熟と学習の関係 6. 初期学習 7. 言語の習得と臨界期 8. 条件づけ学習 9. スキナーの行動分析 10. スキナーの行動分析の教育への応用 11. 心理学とそのほかの領域の関連	事前学習	教科書 pp. 221～250 を熟読しておく。
		事後学習	教科書 pp. 221～250 内の課題問題をやる。
第13回	第8章 第二言語習得 1. 母語習得に関する理論の展開 2. 学習者の言語の特徴 3. 第二言語習得における学習者の母語の影響 4. 学習者と母語話者の談話 5. 教室指導と第二言語習得 6. 第二言語習得に関する個別要因	事前学習	教科書 pp. 252～292 を熟読しておく。
		事後学習	教科書 pp. 252～292 内の課題問題をやる。

第14回	第9章 学習ストラテジー 1. 言語学習はだれが管理しているのか？ 2. オックスフォード (Rebecca Oxford) による 学習ストラテジーの分類 3. 学習ストラテジーの指導法 日本国内外の日本語教育のフィールドと学習者 日本語教師に求められる資質と資格	事前学習	教科書 pp. 294～305 を熟読しておく。
		事後学習	教科書 pp. 294～305 をよく読み、授業の復習をする。
第15回	日本語教育の理論と方法の要点の整理、今までの授業の 振り返り、まとめ、授業評価、最終レポートの準備	事前学習	学習内容を復習し、最終レポートのための準備を行う。
		事後学習	最終レポートを作成する。
期末試験			